



学校教育実践研究Ⅱ日より
平成18年5月12日
発行：教育支援センター

学校教育実践研究Ⅱが始まりました！

3年生の学生みなさんは、4月から学校教育実践研究Ⅱが始まりました。5月末から行われる学校教育実習Ⅲの事前、事後指導が中心です。1・2年生の間に行ってきた実践研究Ⅰや学校教育実習Ⅰ、Ⅱでの経験や学びを活かして、より質の高い実習に向かうことになります。今回は、4月からの学校教育実践研究Ⅱでの授業の様子をお伝えしたいと思います。

不安、楽しみ、目標は？

2回目の授業で、附属学校での実習に向けての心配なことや楽しみなこと、実習での目標などについてみんなで意見を出し合いました。その結果、全体としての傾向は以下のようなものでした。

不安なことは？

＜授業に関すること＞

板書、教材に興味を持ってくれるか、一人で授業ができるか、予想外の質問など多数

＜健康管理、基本的な生活習慣に関すること＞

起床時間、弁当の準備など

＜生徒とのかかわりに関すること＞

話がうまくできるか、注意ができるか、昼食時の生徒との話、掃除の指導など多数

楽しみなことは？

＜生徒とのかかわりに関すること＞

話すこと、弁当の時間、中学生が考えていることを知ること、休憩時間のかかわりなど

＜行事に関すること＞

合唱コンクール、運動会など

＜授業に関すること＞

学んだことを授業を生かすこと、新たに学ぶこと、実習そのものに対する期待、実習生になれること、先生と呼ばれること、教室の教壇に立てることなど多数

＜その他＞

自己改善・・・自分自身がどう変わるかなど

実習での目標は？

＜授業に関すること＞

わかりやすい授業、生徒の立場に立った授業、指導力の向上、失敗を怖がらない、(英語の楽しさ、数学の楽しさ・・・)教科の楽しさを教える、興味を持ってもらうこと、授業の流れを作る、授業に自信を持つなど多数

＜教実習生としての振るまい＞

挨拶をすること、よく見て動く、教師として振るまうなど多数

＜生徒とのかかわり方＞

積極的に話す、自分の方から生徒に話しかけるなど

＜健康管理＞

遅刻をしない、体調を整えるなど



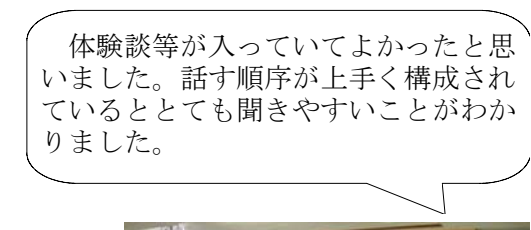
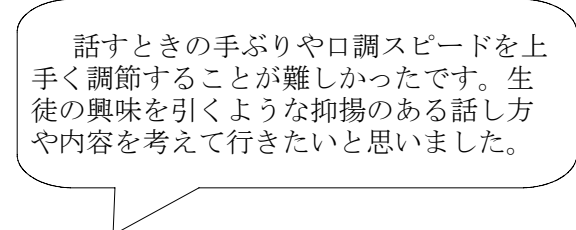
お互いに抱いている不安や心配は皆同じなんですね。しかしながら、その不安や心配が実習に対する期待にもなっていました。不安や緊張の中で自分の力を精一杯発揮しようとするときには人は、大きく成長していきます。みなさんが実習後に精神的に一回り大きくなった姿をイメージしながら、これからもいっしょに頑張っていきましょう。



鍛える ～生徒の前で堂々と話せるようになろう！～

前回(4月28日)、教育講話をテーマにした授業を行いました。各クラス配当の学生さん同士で、交通安全、部活動など4つ話題を取り上げ、配当クラスの生徒をイメージして生徒の前で話す練習を行いました。普段、友達との会話がほとんどである皆さんにとっては、集団を意識して話すことはとても難しいことであったようです。話す内容そのものも大切ですが、まずは自分の話し方の癖や声の大きさ、口の開け方など話し方の基本的な技能をチェックしてほしいと思います。

これから授業の中で、何度か教育講話を取り上げ話す練習をします。生徒に対して自分が考えていることを自分の言葉で話せるようになりたいものですね。



意識を高める

皆さん、冬山の登山を考えてみてください。上るときには、天候のこと、持ち物のこと、日程のこと、体力やこれまでの経験に応じた高さの山であるか、緊急時の対応のこと・・・さまざまな調査や事前準備をしておかなければ登ることはできません。一つ間違えば大変なことになります。教育実習も同じようなことがいえるのではないのでしょうか。心配なことや直面するであろう指導場面、関わりでの場面での技能や力量を少しでも高めておきたいですね。

うまくいなくて当たり前！・・・でも投げやりな気持ちで向かうところには、進歩も向上も期待できません。同じ失敗でも努力をした上での失敗は、必ず次のステップへのヒントを与えてくれるはずです。努力したからこそ、うまくいったときの喜びが実感できるのではないのでしょうか。

今、この学校教育実践研究Ⅱで行っているさまざまな学習が、生徒の前に立つときの自信や生徒とのよりよい関わりにつながっていくことを信じています。